

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

2030ビジョン

木とともに未来を拓く総合バイオマス企業として持続的な成長を遂げる

売上高

1兆2,000億円以上

営業利益

400億円以上

EBITDA

1,000億円

ROE

5.0%以上

② 中長期の経営戦略

1. 事業構造転換の加速

生活関連事業の売上比率を2020年度の32%から2025年度には41%に拡大し、営業利益を79億円から150億円に増加予定

2. 生活関連事業の拡大

液体用紙容器、家庭紙・ヘルスケア、ケミカル事業での投資と設備増強により収益力強化を推進

3. グラフィック用紙の基盤強化

白老工場8号抄紙機と八代工場N2抄紙機の停機により生産性向上と原価改善を実現

4. GHG排出量削減の加速

2030年度目標を45%から54%に引き上げ、燃料転換と生産体制再編成を前倒しで実施

③ 対処すべき課題

① Opa l社の立て直し

- ・メアリーベール工場をパッケージ原紙工場として生産体制確立し収益改善を加速
- ・パッケージ事業で設備投資の効果発現とオセアニア地域での販売拡大を推進
- ・新労使協定により工場構造改革と収益力強化を実現し早期黒字化を目指す

② 生活関連事業の収益力強化

- ・石巻工場と八代工場に家庭紙製造設備を新設しパルプからの一貫生産拠点を増加
- ・ハンガリーリチウムイオン電池用CMC工場稼働により、EV電池向け製品をグローバル供給
- ・E l o p a k社や四国化工機と協業し、液体用紙容器の販売拡大と一貫サービス構築

③ 人手不足への対応と人材確保

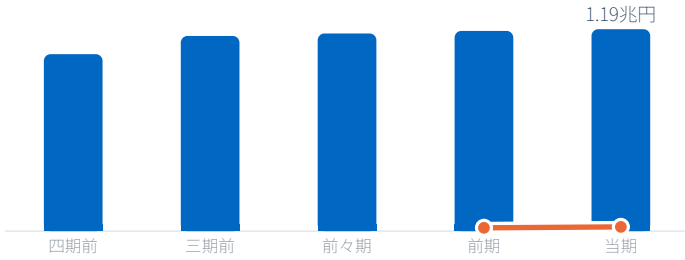
- ・キャリア採用、外国人人材採用、リファラル採用など採用チャネルの複線化を推進
- ・在宅勤務制度や地域限定総合職制度の導入で多様な働き方を実現
- ・コーチングスキル研修と経営層懇談でエンゲージメント向上と社内コミュニケーション活性化を進める

面接で使えるポイント

- ・グラフィック用紙需要減少に対応し、生活関連事業の売上比率を2020年度の32%から2025年度に41%へ拡大する事業構造…
- ・2030年度GHG削減目標を45%から54%に引き上げ、八代工場での石炭ボイラー停機により脱炭素経営を推進
- ・ハンガリーのリチウムイオン電池用CMC工場稼働など、将来のEV拡大を見据えたバイオマス新素材事業の展開

証券コード 3863

業績の推移（売上＝棒／営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
1.19兆円営業利益率
2.1%財務健康度
12点／100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 51.6（当サイト算出の参考指標）

平均年収
692万円

パルプ・紙内 6位/24社

平均年齢
43.0歳

パルプ・紙内 11位/24社

平均勤続
21.0年

パルプ・紙内 6位/24社

女性管理職
2.5%

パルプ・紙内 18位/21社

男性育休
95.9%

パルプ・紙内 9位/21社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 日本製紙×オギノ、紙パック回収量向上に向けた取組みを2026

